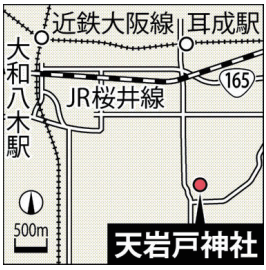
天岩戸神社の拝殿＝橿原市で

天香具山 南の入り口守る

やまとの神さま

天岩戸神社（橿原市）



天岩戸神社は大和三山のひとつ天香具山の南麓に鎮座します。小ぶりな石鳥居をくぐって左（北側）に曲がる参道を行くと正面に拝殿があり、その背後は竹林になっています。当社には本殿はなく、拝殿よりご神体とされる磐座を拝する古い祭祀形態を残す神社です。

四つの大石が組み合ったご神体は、「古事記」「日本書紀」の神話に記された天照大神が籠もられた天岩戸とされ、ご祭神は天照大神です。天照大神が天岩戸に籠もられた際に天鈿女は岩戸の前でササを手に踊り、周りの神々がはやし立てて天照大神を岩戸より誘い出しました。ご神体を取り巻く竹は、往古より七本竹と称され、毎年7本生え、7本枯れるとの不思議な言い伝えもあります。拝殿には神話を描いた絵が奉納されており、参拝者はいにしえの出来事に思いを巡らせます。

天香具山は、もとは天にあってそれが降りてきたと伝わる、三山のうち唯一「天」の尊称の付くとりわけ神聖視された山です。山中には当社の他にも、天香山神社や国常立神社、伊弉諾神社、伊弉冊神社などがあり、「月の誕生石」「蛇つなぎ石」などと呼ばれる不思議な岩があちらこちらに見られます。天岩戸神社はこの神秘の山の南の入り口を守る古社です。

（奈良まほろばソムリエの会会員　大江弘幸）

（住所）橿原市南浦町772
（祭神）天照大神
（交通）市コミュニティバス南浦町下車、徒歩約5分　近鉄耳成駅下車、徒歩約30分
（拝観）境内自由
（駐車場）なし
（電話）なし